

Japanese Red Cross Takayama Hospital

高山赤十字病院紀要

(第44号) 2021年



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院紀要 第44号

令和4年3月1日発行

発行 高山赤十字病院
〒506-8550 岐阜県高山市天満町3-11
電話 (0577) 32-1111(代)

印刷 中京コピー株式会社
〒461-0001
愛知県名古屋市東区泉三丁目30番3号
電話 (052) 931-2611

高山赤十字病院紀要

第44号

二〇二二年三月

巻頭言	清島 満	1
臨床・症例検討		
有茎性基底細胞癌の1例	市橋 直樹・他	3
結腸脂肪垂と腹膜前脂肪腫が嵌頓していた大腿ヘルニアの1例	篠田 智仁・他	5
可動性血栓を有する症候性高度頸動脈狭窄症に対して急性期に血管内治療を行った1例	田口幸太郎・他	9
超強化型施設の在宅復帰に向けての取り組み ～試行的な退所時指導から繋ぐ在宅療養支援～	望月 崇伯・他	13
Special Report		
中日医療制度の違いと反省	馮 輝	18
剖検検討会報告(CPC)		
NASHによる肝硬変、肝不全が疑われた1例	元田 晴伸・他	20
腎不全、心不全が急激に悪化した肥大型心筋症の1例	梁 成秀・他	24
心不全が悪化した全身浮腫の1例	小原 亘顕・他	29
血痰で発症し、血管炎が疑われた1例	清水 里香・他	33
IgG4関連疾患治療中に多発肺腫瘍を認めた1例	藤木 俊吾・他	37
間質性肺炎急性増悪の一例	宮脇 淳・他	42
肺炎を合併したRett症候群の一例	神谷 理斗・他	46
剖検記録		
平成30年(2018年)当院における病理解剖の現状	岡本 清尚・他	50
平成31年・令和元年(2019年)当院における病理解剖の現状	岡本 清尚・他	53
業績・他		
各科業績記録(2019年度、2020年度)		56

高山赤十字紀要
JRC Takayama Hosp

高山赤十字病院

高山赤十字病院紀要 投稿規程

- I. 本誌は、原則年1回発行し、高山赤十字病院職員および関係者の論文等を掲載する。
- II. 投稿論文は未発表のものとする。原稿の採否は編集委員会が決定する。
- III. 原稿
 1. word形式で、A4版用紙1枚に40字x40行の横書きで作成する。
 2. 原稿の第1枚目に、論文題名、著者名、所属、和文抄録（400字以内）、索引用語（5個以内）を記載し、本文は2枚目から始める。
 3. 英文タイトル、著者名、所属、英文抄録（200語以内）の用紙を添付することにはこだわらない。
 4. 各章の標題は、大項目をI、II、III・・・、中項目を1、2、3・・・、小項目を1)、2)、3)のように記載する。
 5. 論文の長さ、図・表・写真の枚数は、制限することがある。
 6. 提出にあたっては、印刷版と電子メディアの両方を提出する。
 7. 共同著者に名前を挙げる人には、必ず事前に承諾を得る。
- IV. 図・表
 1. 各々の図（写真）・表は番号・見出しを付けて、本文にも挿入箇所を指定する。
 2. 図（写真）は鮮明なものを使用する。
 3. カラー印刷は、実費を徴収する。
- V. 査読
 1. 論文は査読制とする。
 2. 査読は、編集委員会が委嘱する当院職員もしくは、それ以外の専門科2名の査読者により、論文の獨創性、論述形式の妥当性を審査する。採否は査読者の審査に基づき、編集委員会が決定する。
 3. 文章表記等については編集方針に基づき、編集委員が加筆、訂正を行う場合がある。
- VI. 文献
 1. 主要文献のみ、原則として20個以内とする。
 2. 本文の引用箇所^{1) 2) 3)}のように肩番号をつけ、文末に一括して掲載順に記載する。
 3. 著者は2名までは併記し、それ以外は「他」「et. al.」と省略する。
 4. 雑誌は、著者名：論文題名、雑誌名 巻数：始頁－終頁、年号（西暦）の順に記載する。
欧文雑誌名の省略はPub Medに従う。和文雑誌名は原則として省略しない。
例：2) 橋本健一、柴田敏朗、他：低血糖脳症後に食行動異常が自制困難となった1型糖尿病の1例
糖尿病 52：291－294、2009
4) Yokoyama Y., Asano Y. et. al. :Familial Occurrence of Arteriovenous Malformation of the Brain
J Neurosurg 74：585-589, 1991
 5. 単行本は、著者：章の見出し、編者名、書名、版次、発行者、発行地（都市名）、発行年（西暦）、始頁－終頁の順に記載する。
例：5) 塩屋正道、安田一郎、他：膵癌に対するEUS-FNIによる腹腔神経叢ブロック、安田健治朗編、胆膵内視鏡診療の実際、日本メディカルセンター、東京、2009、227－232
 6. Webページは、サイト名、タイトル、URL、[アクセスした年月日]を記載する。
例：7) 日本小児科学会、インフルエンザ脳症ガイドライン <http://www.jpeds.or.jp/influenza/influenza090928.pdf>、
[accessed 2011年5月10日]
- VII. 短報
仕上り1－2頁の短報、photo reportも受け付ける。
- VIII. 学術業績の記録
雑誌発行時の前年度に発表された学会演題、投稿論文の記録（以下の書誌事項）を掲載する。提出の際は、電子メディアを提出する。
 1. 投稿論文：論文題名、所属、著者名、雑誌名、巻数：始頁－終頁 発行年（西暦）
 2. 学会発表：演題名、所属、発表者名、学会名、発表年月日（西暦）、発表地（都市名）
- IX. 著作権
 1. 本雑誌に掲載された論文の著作権は、高山赤十字病院に帰属する。
 2. 本誌に掲載された著作物の全文又は一部を電子化し、赤十字リポジトリサーバ¹⁾或いは、その他のコンピュータネットワーク上で公開することがあります
 3. 本雑誌に投稿する際には「投稿および著作権帰属承諾書」を提出する

附則

この規程は平成28年10月1日から施行する

令和3年7月28日一部改正